

学校だより

第 2 号

静けき海の心

高中訓：心うごかそう～考える・感じる・協働する高中生～
めざす生徒像

- 健康や安全を意識して生活する生徒
- 自分や周りの人のことを考え行動する生徒
- 進んで学習に取り組む生徒

7 月 6 日から西三河中学校選手権大会の碧南・高浜地区予選会が行われました。6 月 28 日の部活動決意表明式で誓ったように、高中生は選手から補欠、応援までが一体となった戦いを繰り広げました。また、吹奏楽部は渾身の演奏をしました。西三大会に駒を進めたチームや個人がある一方で、この予選会で戦いを終えた部活動もあります。いずれにせよ、高中生は立派に試合に挑みました。これまでの努力を振り返りつつ、この大会を通じて生徒自身はかけがえのない大切なものをつかんだことと思います。そして、3 年生が示した最後まであきらめない姿は、1、2 年生にしっかりと受け継がれていくものと信じています。夏休みを迎えるにあたり、全校集会で次のような話をしました。

4 月からこれまで、各学年に大きな行事がありました。1 年生はオリエンテーション合宿です。それぞれの小学校から集まった新しい仲間と高浜中学校の先生たちとの出会い。心うごかすをテーマにしたいくつかの集いで培い、育まれたものを今も大切にしていますか。2 年生は職場体験です。実習そのものはわずか 3 日間でしたが、実際に働くことの一部でも体験できたことは貴重な時間であったはずで、体験先でお世話になった方々の心遣いとともに心にとどめておいてほしいと思います。3 年生は修学旅行です。3 日間の旅行を通して友達や先生との関係がぐっと深まったと思います。中学校の良き思い出として大切にしてください。

大きな行事を振り返りましたが、皆さん個人としてはどんな生活だったでしょうか。努力の成果が現れたこと、うまくいったことなどはうれしいものですが、なかなかそうはいかないものです。気持ちはあるのにうまくいかない、失敗が続いて気持ちが落ち込むなどということもあります。また、中学生という成長の段階の特性から、素直になれなかったり、人のせいにしてみたり、反抗してみたりすることもあります。3 年生であれば、進路を強く意識しているのだけれど、努力が続かない、立ち向かえないということもあるでしょう。この機会に、一度自分自身としっかりと向き合ってみてはどうでしょうか。それには、先日の少年の主張大会で発表のあった、本校 3 年生岡本春香さんの「私の在り方」という作品がとても参考になります。

自堕落な生活を自覚していた春香さんは、それを指摘されたお母さんと一度はケンカをします。しかし、改めて素直な気持ちでお母さんに自分の気持ちを打ち明けた春香さんは、「やろうと思ったことを、思ったように取り組めばいいんだよ」という言葉から深く考えました。そして、「自分が心からしたいと感じることにたくさん挑戦しよう」と決意したのです。人や物事に対して素直になることそれ自体が一つの才能であるという言葉があります。素直に物事を受け止めること、素直に物事に対応することは、成長の大きな鍵です。そして、素直な人は他人から信頼されることも多いものです。春香さんの作品の全文を「静けき海の心」に載せましたので、ぜひ読んでみてください。

私の在り方

高浜中学校 3 年 岡本春香

少し前まで私は「同情」という言葉が嫌いだった。本当に苦しい人は、同情されてもうれしく思わないだろうから。私が同情されるとき、私の痛みは理解されていない。そう思うから。

私はよく、失敗する。その度に、「人間なんだから当たり前のことだ、これはいい経験になった。」と、自分に言い聞かせている。そうでもしないと、自分の心が叫び出しそうになるから。もう辞めたい、と。

テストで思うような結果が出せなかったとき。吹奏楽部の練習で思うような音が出なかったとき。人間関係がうまくいかなかったとき。自分が失敗する度に、目標に届かなかった度に、なぐさめてくれる友人や家族の言葉は自分にとって大きな糧になるはずなのに。それでも私は、その思いやりを心で拒否してし

まう。「同情はかえって迷惑だ。」と。

よく言えば負けず嫌い、悪く言えばひねくれ者、そんな自分が嫌だった。性格は簡単には変えられるものではないとわかっている。「なんで私はこんな性格なんだろう。」「この後ろ向きな性格をなんとかしたい。」私の心は、いつも葛藤している。

最近、母とケンカした。自堕落な生活をしていた私に、三年生になったのにそれでいいのか、受験生としての自覚はないのかとどなった。どきどきとした。反論できなかった。悔しかった。母は私のことを思っ

て叱ってくれている。そうわかっている、私の口からは反抗的な言葉が出る。なんで。

「うるさい。ほっといてよ！」

こんなこと言いたくないのに。反抗期のせいにできたらどんなに楽だろう。そう思うけれど、これがすべて反抗期によるものではなくて、自分の性格そのものが、母の言葉を拒否しているということを、私が一番知っていた。

思えば、私は最近、周りの好意を邪険にしてばかりだ。考えれば考えるほど、自分の勝手さに嫌気が差した。

このままではいけない。私は、自分の性格で悩んでいることを母に打ち明けた。ケンカしたばかりだったのに母はとても真剣に話を聞いてくれた。そして、

「あなたはやろうと思ったことを、思ったように取り組めばいいんだよ。」

と言ってくれた。

母の言った「やろうと思ったこと」とはなんだろう。私は今までずっと無理をしていたのだろうか。人に同情されるのが嫌いな理由は、自分にプレッシャーをかけすぎていたからだったのか。

よく考えてみれば、私のまわりの人たちは、決して私に無理な結果を求めてはいなかった。ただ応援してくれているだけだった。それなのに私は、それを重く解釈して、プレッシャーに感じていた。それがわかった途端に、胸にあったつかえがするりと溶けた気がした。思えば、友人や家族は私に「無理しなくていいんじゃない？」と問いかけてくれる時も、何度もあったのに。

ああ、そうか。無理しなくていいんだ。やりたいことをやればいいんだ。

今までは、無理をしてでも成し遂げようと思っていた。でもこれからは、自分が心からしたいと感じることにたくさん挑戦しよう。これが私のモットーだ。興味をもつことに挑戦せず、後悔するのが一番嫌だ。だから私は、「やりたいことに素直になる」と決めた。これが私の結論で、決意だ。

社会に出ると、辛いこともたくさんあるだろう。理不尽なこと、納得のいかないこと、今までに経験してきた痛みとは比べものにならないほどの、たくさんの嫌な感情が飛び交う、広くて大きな社会。でも、たとえ難しいことであっても、「やりたいこと」や「挑戦したいこと」に対して、いつまでも素直でいたい。

夏休みの「学校閉校日」のお知らせ

今年の夏休みは、下記の日程で市内小中学校が閉校となります。保護者の皆様のご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。

記

1 期間 令和元年8月10日(土)～16日(金)

2 備考 閉校日の期間は、土日と同様、職員が学校にいません。電話は、留守番電話に設定します。緊急連絡のある時は、高浜市教育委員会(Tel52-1111)へお願いします。

3年生の保護者の皆様、朝のあいさつ運動にご協力いただきありがとうございました。おかげをもちまして、正門にてあいさつのできる生徒が増えてきたように思います。2年生の保護者の皆様は9月18日(水)、1年生の保護者の皆様は11月15日(金)から始まりますので、ご協力よろしくお願いいたします。